

Title	石川忠雄先生 略歴・主要著作目録
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	2008
Jtitle	法學研究：法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.81, No.6 (2008. 6) ,p.169- 181
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	特別記事：石川忠雄先生追悼記事
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-20080628-0169

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

石川忠雄先生 略歴

- 一九二二年一月二十一日 東京都に生まれる
- 一九四六年 慶應義塾大学経済学部卒業
- 一九四八年 慶應義塾大学法学部助手兼大学院特別研究生（文部省）
- 一九五五年 慶應義塾大学法学部助教授
- 一九五六年 慶應義塾大学法学部教授
- 一九六〇年 慶應義塾大学法学博士
- 一九六五年 慶應義塾大学法学部教授
- 一九七〇年 慶應義塾大学法学部助教授
- 一九七一年 慶應義塾大学法学部助教授
- 一九七二年 慶應義塾大学法学部助教授
- 一九七三年 慶應義塾大学法学部助教授
- 一九七五年 慶應義塾大学法学部助教授
- 一九七七年 慶應義塾大学法学部助教授
- 一九七九年 慶應義塾大学法学部助教授
- 一九八〇年 慶應義塾大学法学部助教授
- 一九八一年 慶應義塾大学法学部助教授
- 一九八二年 慶應義塾大学法学部助教授
- 一九八三年 慶應義塾大学法学部助教授
- 一九八四年 慶應義塾大学法学部助教授
- 一九八五年 慶應義塾大学法学部助教授
- 一九八六年 慶應義塾大学法学部助教授
- 一九八七年 慶應義塾大学法学部助教授
- 一九八八年 慶應義塾大学法学部助教授
- 一九八九年 慶應義塾大学法学部助教授
- 一九九〇年 慶應義塾大学法学部助教授
- 一九九一年 慶應義塾大学法学部助教授
- 一九九二年 慶應義塾大学法学部助教授
- 一九九三年 慶應義塾大学法学部助教授
- 一九九四年 慶應義塾大学法学部助教授
- 一九九五年 慶應義塾大学法学部助教授
- 一九九六年 慶應義塾大学法学部助教授
- 一九九七年 慶應義塾大学法学部助教授
- 一九九八年 慶應義塾大学法学部助教授
- 一九九九年 慶應義塾大学法学部助教授
- 二〇〇〇年 慶應義塾大学法学部助教授
- 二〇〇一年 慶應義塾大学法学部助教授
- 二〇〇二年 慶應義塾大学法学部助教授
- 二〇〇三年 慶應義塾大学法学部助教授
- 二〇〇四年 慶應義塾大学法学部助教授
- 二〇〇五年 慶應義塾大学法学部助教授
- 二〇〇六年 慶應義塾大学法学部助教授
- 二〇〇七年 慶應義塾大学法学部助教授
- 二〇〇八年 慶應義塾大学法学部助教授
- 二〇〇九年 慶應義塾大学法学部助教授
- 二〇一〇年 慶應義塾大学法学部助教授
- 二〇一一年 慶應義塾大学法学部助教授
- 二〇一二年 慶應義塾大学法学部助教授
- 二〇一三年 慶應義塾大学法学部助教授
- 二〇一四年 慶應義塾大学法学部助教授
- 二〇一五年 慶應義塾大学法学部助教授
- 二〇一六年 慶應義塾大学法学部助教授
- 二〇一七年 慶應義塾大学法学部助教授
- 二〇一八年 慶應義塾大学法学部助教授
- 二〇一九年 慶應義塾大学法学部助教授
- 二〇二〇年 慶應義塾大学法学部助教授
- 二〇二一年 慶應義塾大学法学部助教授
- 二〇二二年 慶應義塾大学法学部助教授
- 二〇二三年 慶應義塾大学法学部助教授
- 二〇二四年 慶應義塾大学法学部助教授
- 二〇二五年 慶應義塾大学法学部助教授
- 二〇二六年 慶應義塾大学法学部助教授
- 二〇二七年 慶應義塾大学法学部助教授
- 二〇二八年 慶應義塾大学法学部助教授
- 二〇二九年 慶應義塾大学法学部助教授
- 二〇三〇年 慶應義塾大学法学部助教授

- 一九七七年
慶應義塾長（理事長・大学長）に就任（兼法学部教授）
- 一九七八年
文部省学術審議会委員
- 一九七九年
文部省私立大学審議会委員
- 一九八〇年
文部省大学設置審議会委員、常務委員
- 一九八一年
日中人文社会科学交流協合理事
- International Association of Universities 理事
- 一九八二年
文部省社会教育審議会副会長
慶應義塾長に再選
- 一九八三年
文部省大学設置審議会会長
- 一九八四年
大学基準協会会長
- 一九八五年
日本私立大学連盟会長
- 一九八六年
日中友好二十一世紀委員会日本側座長
- 一九八七年
日本私立大学団体連合会会長
- 一九八八年
慶應義塾長に三選
- 一九八九年
文部省大学改革協議会座長
- 一九九〇年
慶應義塾大学名誉教授、文部省大学審議会会長
- 一九九一年
東京都教育委員会委員長、全国都道府県教育委員会連合会会長
- 一九九二年
慶應義塾長に四選
- 一九九三年
文化功労者
- 慶應義塾長退任、慶應義塾学事顧問

一九九四年

慶應義塾評議員

一九九五年

勲一等旭日大綬章受章

二〇〇〇年

文化勲章受章

二〇〇七年九月二十五日

逝去（享年八十五歳）

石川忠雄先生 主要著作目録

〔著書・編書〕

- | | | |
|-------------------------|-----------|-------|
| 〔中国憲法史〕 | 慶應通信 | 一九五二年 |
| 〔中国共産党史研究〕 | 慶應通信 | 一九五九年 |
| 〔中国政治史講義案〕 | 慶應通信 | 一九六三年 |
| 〔中華人民共和国―その実態と分析―〕 | 時事通信社 | 一九六四年 |
| 〔現代中国の諸問題〕 | 慶應通信 | 一九六七年 |
| 〔国際政治と中共〕 | 有信堂 | 一九六八年 |
| 〔戦後資料 日中関係〕(中嶋嶺雄、池井優共編) | 日本評論社 | 一九七〇年 |
| 〔日中問題私見〕 | 酒井書店 | 一九七三年 |
| 〔私のみた日本外交〕 | 慶應通信 | 一九七六年 |
| 〔転換期の東南アジア〕(朴在圭共編) | 成甲書房 | 一九七七年 |
| 〔私の夢 私の軌跡〕 | 慶應通信 | 一九九三年 |
| 〔未来を創るころ〕 | 慶應義塾大学出版会 | 一九九八年 |
| 〔禍福こもごもの人生〕 | 慶應義塾大学出版会 | 二〇〇四年 |

〈訳書〉

- 『ソヴェエトのアジア政策』（マックス・ペロフ著 小谷秀二郎共訳）
日本外政学会 一九五七年
- 『現代中国―その実体と分析―』（ハワード・L・ポアーマン著 監訳）
日本外政学会 一九六〇年
- 『湖北秋収暴動経過の報告』（三上諦聴・芝田稔共訳）
関西大学東西学術研究所 一九六一年
- 『第四次全国労働代表大会に提出せる上海総工会の報告書』（三上諦聴・芝田稔共訳）
関西大学東西学術研究所 一九六二年
- 『一九二二年より一九二六年にいたる中国共産党五年來の政治主張』（三上諦聴・芝田稔共訳）
関西大学東西学術研究所 一九六三年
- 『中国共産党史―中国共産主義と毛沢東の抬頭―』（ベンジャミン・I・シュウォルツ著 小田英郎共訳）
慶應通信 一九六四年
- 『発信地―北京』（フレデリック・ノサール著 小田英郎共訳）
時事通信社 一九六四年
- 『抗日軍政大学の動態―中国共産党史研究の一資料』（三上諦聴・芝田稔共訳）
関西大学東西学術研究所 一九六五年
- 『毛沢東』（スチュアート・シユラム著 平松茂雄共訳）
紀伊國屋書店 一九六七年
- 『中共革命への道（ガイ・ウイント著）』
時事通信社 一九六七年
- 『中国―毛沢東以後への過渡期―』（A・ドーク・バーネット著 山田辰雄共訳）
鹿島出版会 一九七六年

〈単行書収録論文〉

- 「中華人民共和国憲法の内容とその特質」
日本外政学会編『外政講座シリーズ 中共』
日本外政学会 一九五六年
- 「西安事件の一考察—モスコ—と中国共産党との関係について—」
慶應義塾大学法学部編『慶應義塾創立百年記念論文集 法学部第二部』
慶應義塾大学法学部 一九五八年
- 「中国共産党のリーダーシップの若干問題」日本外政学会編『中共政権の現状分析』
日本外政学会 一九六一年
- 「中華人民共和国の対日政策に関する一考察—一九四九年—一九五八年を中心として—」
英修道博士還暦記念論文集『外交史及び国際政治の諸問題』
慶應通信 一九六二年
- 「中国現代史」
アジア政経学会編『中国政治経済綜覧』
日刊労働通信社 一九六二年
- 「中国共産党の組織と実態」
アジア政経学会編『中国政治経済綜覧』
日刊労働通信社 一九六二年
- 「中共の国内革命の成功」
国民講座日本の安全保障編集委員会編『極東の安全保障』
原書房 一九六八年
- 「抗日民族統一戦線の形式と西安事件」
筑摩書房編集部編『世界の歴史』第一六巻
筑摩書房 一九六九年
- 「日中関係の展望」
日本文化フォーラム編『中国問題と日本の選択』
自由社 一九七一年
- 「日中関係の展望と三極構造」

K・メーネルト他著『巨大なる三角形 ワシントン―北京―モスクワ』

慶應通信 一九七二年

「中国共産党史に見る党内権力闘争」

桑原寿二編『中国の実像』

永田書房 一九七三年

「日中関係概観」

鹿島平和研究所編『世界のなかの日本』

鹿島出版会 一九七五年

〈雑誌掲載論文〉

「中国憲法の基本的諸問題に関する一考察——一九三三年以降の制憲論争を中心として——」(一、二完)

法学研究二二巻四、五号 一九四八年

「新民主主義革命と中共の和平八条件」(一)〜(三)

三色旗一五〜一七号 一九四九年

「清末及び民国初年に於ける連邦論と省制論」

法学研究二四巻九・一〇号 一九五一年

「民国政治史論」(一、二完)

三田政治学会誌三三、三四号 一九五一年

「中華人民共和国三年のうごき」(一、二、三完)

三色旗五九、六〇、六一号 一九五三年

「李立三コース問題の一考察」(一、二完)

法学研究二六巻七、九号 一九五三年

「大革命敗退直後における中国共産党について」

法学研究二七巻八号 一九五四年

「武漢政府時代の中国共産党」

アジア研究一卷三号 一九五五年

「中華人民共和国憲法について」(一)(二)

三色旗八四・八五号 一九五五年

「第一次国共合作とコミンテルン」

法学研究二八巻一一号 一九五五年

「新中国に於ける人民民主統一戦線とその将来」

アジア評論三五号 一九五五年

- 「上海国是会議二種憲法草案」
- 「李立三コースとロシア留学生派」
- 「ハーヴァード大学に於ける中国研究」
- 「コロンビア大学の中国研究」
- 「アメリカの中国研究」
- 「江西ソヴェエト期における抗日反帝統一戦線の諸問題」
- 「ワシントン大学の中国研究」
- 「社会主義国における中国の役割—その自主性をめぐって—」
- 「京漢鉄道罷業と陳独秀」
- 「中共とソ連—中共の対ソ主体性—」
- 「福建人民革命政府事件と中国共産党」
- 「劉少奇をめぐる若干の問題」
- 「中共の対日政策の分析—対日政策の基本目標と具体的政策の展開過程—」
- 「最近の中ソ対立論について」
- 「抗日民族統一戦線形成過程における中国共産党とコミンテルン」
- 「中共の対外政策—対日政策を中心として—」
- 「中共の指導者と外国教育」
- 「中国共産党指導部に関する一考察—八期中央委員を中心として—」
- 「東南アジアにおける中ソの活動状況」

国際政経事情二〇号	一九五六年
法学研究二九卷五号	一九五六年
外政四号	一九五七年
外政六号	一九五七年
アジア研究四卷四号	一九五八年
法学研究三一巻七号	一九五八年
外政八号	一九五八年
中央公論七三巻一—号	一九五八年
法学研究三一巻一二号	一九五八年
史泉一四号	一九五九年
法学研究三三巻二号	一九六〇年
共産圈問題四巻一—号	一九六〇年
日本及日本人一一巻四号	一九六〇年
三色旗一五二—号	一九六〇年
法学研究三四巻二—号	一九六一年
アジア経済二巻三—号	一九六一年
三色旗一五七—号	一九六一年
法学研究三四巻七号	一九六一年
共産圈問題六巻二—号	一九六二年

- 「東南アジアと中ソ関係」
中央経済一 一巻四号 一九六二年
- 「アメリカの中国研究」
アジア研究四巻四号 一九六二年
- 「東南アジアにおける中・ソの活動」
三田評論六〇四号 一九六二年
- 「内政と中共指導部の動向」
自由四巻七号 一九六二年
- 「中ソ関係の展望」
共産圏問題七巻五号 一九六三年
- 「アメリカの中共政策―ヒルズマン演説を中心として―」
三田評論六二五号 一九六四年
- 「中共の指導者群と派閥」
季刊社会科学一号 一九六四年
- 「中共の対日政策」
三色旗一九四号 一九六四年
- 「中華民国訓政時期約法の制定と蒋介石」
法学研究三七巻七号 一九六四年
- 「中国における国内情勢と外交政策―一九五七年以降を中心として―」
法学研究三七巻一二号 一九六四年
- 「中・ソ対立―中共を支えるもの―」
日本八巻二号 一九六五年
- 「中共の現実をどうみるか―その内政と外交―」
自由七巻三号 一九六五年
- 「中華人民共和国の外交政策決定に関する試論的考察」
法学研究三八巻一二号 一九六五年
- 「中共の内政・外交の回顧と展望」(平松茂雄共著)
国際問題七〇号 一九六六年
- 「中国実力者列伝―毛沢東とその後継者たち―」(監修)
中央公論八一巻一号 一九六六年
- 「中国外交政策の決定要因」
中央公論八一巻四号 一九六六年
- 「中共外交政策の性格―一九五七―八年を中心として―」(平松茂雄共著)
季刊社会科学九号 一九六六年
- 「中国共産党の大衆動員方式」
中央公論八一巻一号 一九六六年
- 「中共の『文化大革命』の見方」
三色旗二二五号 一九六六年
- 「中共外交政策形成過程の一考察―一九五七―五八年を中心として―」(平松茂雄共著)

- | | | |
|--|----------------|-------|
| 「文化革命の現状をどうみるか」 | 法学研究四〇巻一号 | 一九六七年 |
| 「米中関係の展望」 | 国際時評四〇号 | 一九六八年 |
| 「中ソ関係の現状と見通し」 | アジア・クォータリー一卷一号 | 一九六九年 |
| 「中共の文化革命の現状とその長期的展望」 | アジア・クォータリー一卷二号 | 一九六九年 |
| 「中共外交政策の展望」 | 国際時評四八号 | 一九六九年 |
| 「朝鮮半島をめぐる国際情勢」 | 国際時評五一号 | 一九六九年 |
| 「中共外交政策形成過程の研究——一九五三～四年を中心として——」 | アジア・クォータリー一卷三号 | 一九六九年 |
| | 法学研究四三巻一号 | 一九七〇年 |
| | 法学研究四三巻七号 | 一九七〇年 |
| 「朝鮮戦争と中国人民解放軍の近代文化について」(平松茂雄共著) | 法学研究四四巻三号 | 一九七一年 |
| 「ソヴィエト革命時期における紅軍の基本的性格に関する一考察」(平松茂雄共著) | 時の課題一五巻五号 | 一九七一年 |
| 「日本の国益と中国問題」 | 国際時評七五号 | 一九七一年 |
| 「中国外交政策の新展開」 | 自由一四三号 | 一九七一年 |
| 「日中復交と日本の国益」 | 国際時評七八号 | 一九七一年 |
| 「ニクソン大統領の訪中と台湾」 | 諸君四巻六号 | 一九七二年 |
| 「単細胞では外交はできない」 | 経済往来二四巻一一号 | 一九七二年 |
| 「北京以後の日本外交」 | 国際時評九一号 | 一九七二年 |
| 「新内閣と中国問題」 | アジア七巻一〇号 | 一九七二年 |
| 「日中国交回復と台湾の地位」 | | |

- | | | |
|---|-------------------|-------|
| 「日中共同声明の読み方」 | 諸君四巻一二号 | 一九七二年 |
| 「『中国の本』をどう読むか」(平松茂雄共著) | 諸君五巻一号 | 一九七三年 |
| 「三極世界における日米安保の役割」 | 革新三〇号 | 一九七三年 |
| 「日中復交と今後の外交姿勢」 | 月刊時事一八巻二号 | 一九七三年 |
| 「中国の動向と日中関係の将来——緊張緩和の動向に関連して——」(平松茂雄共著) | 防衛論集一一巻三・四号 | 一九七三年 |
| 「日中復交と日本外交」 | 月刊時事一八巻七号 | 一九七三年 |
| 「多極化時代に於る日本の進路」 | アジア八巻一二号 | 一九七三年 |
| 「中国の外交姿勢」 | 国際時評一〇五号 | 一九七四年 |
| 「日本のアジア政策」 | アジア・クォーターリー六巻一・二号 | 一九七四年 |
| 「一九四〇年代の国共関係」 | 三田評論七三四号 | 一九七四年 |
| 「国際政治の認識と外交防衛政策」 | 革新四三号 | 一九七四年 |
| 「中国外交はこれでいいか」 | 自由一六巻六号 | 一九七四年 |
| 「蒋介石没後の中国問題」 | 国際時評一二三三号 | 一九七五年 |
| 「変動化するアジアと日本の対応」 | 論展二巻四号 | 一九七五年 |
| 「激動する国際政治情勢下の日本の選択」 | 経営者九号 | 一九七六年 |
| 「毛沢東以後の中国」 | 三田評論一一月号 | 一九七六年 |
| 「毛沢東死後の中国——毛主席の遺功とその内包する宿命——」 | 自由民主二四九号 | 一九七六年 |
| 「一九八〇年代の中国と日本——アジアでの勢力均衡のための必要条件——」 | アジア公論六巻五号 | 一九七七年 |
| 「新段階の中国・アジア・日本」 | アジア一二巻九号 | 一九七七年 |

「大躍進運動をめぐる党内論争」(国分良成共著)

法学研究五二卷七号 一九七九年

〈欧文論文〉

- Communist China's Policy toward Japan, E. F. Szczepanik, ed., *Symposium on Economic and Social Problems of the Far East* (Hong Kong University Press, Hong Kong), 1962.
- The Role of China in the Socialist Camp, *Journal of Social and Political Ideas in Japan*, Vol. 1, No. 1, 1963.
- How to Look upon the Reality of Communist China — Its Domestic Situation and Foreign Policy, *Review* (Tokyo), No. 4, 1965.
- Communist China's Policy toward Japan, *Journal of Social and Political Ideas in Japan*, Vol. 4, No. 4, 1966.
- Japan, China und das Dreieck, *Das große Dreieck Washington-Moskau-Peking*, Mit Beitr. v. Schwelien, Joachim, Deutsche Verlags-Anstalt, Stuttgart, 1971. (譯記'通譯『巨大な三角形』)
- Outlook on Sino-Japanese Relation, *Japan in World Politics*, Institute for Asian Studies, 1972.
- The Normalization of Sino-Japanese Relations, Priscilla Clapp and Morton H. Halperin, eds., *United States-Japanese Relations: the 1970s* (Harvard University Press, Cambridge, Massachusetts), 1974.
- A Review of Japanese-Chinese Relations, Kajima Institute of International Peace, ed., *Japan in the World* (The Japan Times Ltd.), 1976.

〈資料・その他〉

- 「上海国是会議乙種憲法草案解題」
 法学研究二三卷七号 一九五〇年
- 「中華人民共和国婚姻法」(須藤次郎共著)
 法学研究二三卷一〇号 一九五〇年
- 「解説 中華人民共和国における政党及び団体」
 法学研究二四卷一号 一九五一年
- 「中華人民共和国全国人民代表大会及び地方各級人民代表大会選挙法」(及川恒忠共著)
 法学研究二六卷四号 一九五三年
 法学研究二七卷五号 一九五四年
 法学研究二八卷三号 一九五五年
 法学研究二九卷六号一―一號 一九五六年
 法学研究三〇卷一―一號 一九五七年
 法学研究三一卷五号 一九五八年
 法学研究三一卷一―、一二号 一九五八年
- 「新中国選挙法に関する資料」
 法学研究三一卷一―一號 一九五九年
- 「中華人民共和国憲法及び四組織法」(及川恒忠共著)
 法学研究二九卷六号一―一號 一九五六年
- 「戦後日本における現代中国関係主要雑誌論文目録」(一―六完)
 法学研究三〇卷一―一號 一九五七年
- 「ロバート・C・ノース氏による張国燾回顧談記録」
 法学研究三一卷五号 一九五八年
- 「オーエン・ラティモア教授著作目録」
 法学研究三一卷一―、一二号 一九五八年
- 「最近日本における現代中国関係主要雑誌論文目録」(一、二完)
 法学研究三一卷一―、一二号 一九五八年
- 「International Press Correspondence における中国関係記事目録」
 法学研究三一卷一―一號 一九五九年
- 「International Press Correspondence における中国関係記事目録」
 法学研究三三卷五号 一九六〇年
- 「一九二七年八月―一九三〇年六月」(徳田教之共著)
 法学研究三三卷一〇号 一九六〇年
- 「中山艦事件」『党務整理案』問題に関する中国共産党関係資料」
 法学研究三五卷七号 一九六二年
- 「陳誠文庫」目録―台湾における中国共産党史資料―」
 法学研究三六卷一〇号 一九六三年
- 「八・一南昌暴動」に関する四文書」
 法学研究三六卷一〇号 一九六三年